

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



組織・地域を担う



若者たち

～玉葱の根切り作業を行う安藤聡さん～
(紹介は8ページ)

2021.8
No.
572

各生産部会 出荷協議会開催

安定した収量を目指して

～常呂町澁原馬鈴薯部会～

常呂町澁原馬鈴薯部会は7月19日、JA会議室で役員9人とオブザーバーとして林孝広理事が出席し、「令和3年度常呂町澁原馬鈴薯部会出荷協議会」を開きました。

議案第1号から第5号までのすべての議案が原案通り承認されました。

今年の澁粉原料馬鈴薯の作付け面積は約92haで、本年は干ばつで気温の高い日が続きますが、体調管理に注意しながら作業を行うことを確認し終了しました。



安定した玉葱の出荷を目指して

～常呂町玉葱振興会～

常呂町玉葱振興会は7月15日、JA玉葱選別工場で「令和3年度産玉葱出荷協議会」を開き、会員43人が出席しました。

議案第1号から第2号まで、原案通り可決され、確認事項及び報告事項も議案のとおり報告しました。より良い玉葱を出荷できるように体調管理に十分注意し農作業を行っていただくことを確認し、終了しました。



令和3年度集団別生産計画などについて審議

～常呂町麦生産部会～

常呂町麦生産部会は7月14日、JA会議室で役員18人とオブザーバーとして鈴木洋平理事が出席し、「常呂町麦生産部会出荷協議会」を開きました。

議案第1号から第3号までのすべての議案が原案通り承認されました。

最後に、収穫・乾燥時の事故が無い様改めて事故防止の確認を行い終了しました。



高品質なんにくの出荷に向けて

～常呂町にんにく耕作者部会～

常呂町にんにく耕作者部会は7月12日、JA会議室で「令和3年度産にんにく出荷協議会」を開き、部会員11人が出席しました。

議案第1号から第6号まで原案通り可決されました。

ところピンクにんにくは現在GI（地理的表示保護制度）認証申請中であり、認定と登録に向け取り組んでいくことを確認しました。



農業を担う二員として 活躍に期待

新規就農者激励式

J Aとてころ（川上和則組合長）は、7月21日、J A会議室で令和3年度に新規就農した岐阜地区の辻諒弥さんに対し新規就農者激励式を行いました。

当J A川上組合長をはじめ、J A北海道中央会小野寺俊幸代表理事会長、北見市須藤勇一常任自治会長に出席頂き、新規就農者へ今後の活躍を期待する激励の言葉を賜りました。

また、北海道農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲をもって取り組む青年に対し、J A北海道グループ

五連（中央会・ホクレン・信連・厚生連・全共連道本部）会長連盟の激励状と記念品が贈呈され、小野寺会長から手渡されました。

激励式終了後は、当J Aの高橋誠営農企画課長と大川職員から「J Aの役割と意義について」と題して講習会が行われました。



激励状を受け取る辻さん(右)



前列左より、川上組合長、辻諒弥さん、小野寺代表理事会長、須藤常任自治会長、後列左より、田淵収一管理部長、石山茂実常務理事、築紫洋平経済部長、武田宏営農部長

現地研修会でにんにくウイルスについて学ぶ

～常呂町にんにく耕作者部会～

常呂町にんにく耕作者部会は6月24日、にんにくのウイルスについてなどを詳しく学ぶために現地研修会を行いました。

当日は気持ちの良い晴れ空の中、部会員をはじめ関係機関から14人が参加し、岐阜地区・共立地区・豊川地区・富丘地区・福山地区・日吉地区の全6地区に加えて営農推進室試験圃場の9圃場を視察しました。

営農推進室試験圃場では、氏家俊典室長からウイルスフ

リー試験の概要やウイルスについての説明が行われました。参加した部会員は「にんにくをさらに詳しく学び、より質の良いにんにくを生産していきたい」と話しました。



営農推進室より説明が行われました



ハウス内でにんにくを確認しています

洗浄作業終了に伴い 鉄コン配布

5月中旬より、ジャガイモシストセンチュウ拡散防止対策として取り組んでいたスチールコンテナ（鉄コン）の洗浄作業が終了しました。

それに伴い、J Aとてころは玉葱選別工場で収穫用鉄コンの配布作業を実施、7月5日から9日で玉葱用コンテナ2

1, 148基、7月6日から9日にはにんにく用コンテナ114基を配布しました。また、6月22日には種馬鈴薯用コンテナ432基、7月12日から13日には、加工馬鈴薯用コンテナ1, 439基を配布しました。



鉄コンの固定作業を行う向正道さん

女性農業研修生がきました

6～7月に「ファーマーズハウス うえる」に入居していた農業研修生をご紹介します。

渋谷 千浩さん

研修期間：令和3年7月

出身地：静岡県

趣味：絵を描くこと



●農業研修に応募したきっかけは？

自給自足の生活に興味があり、北海道に来る機会があったので応募しました。農家の知人などいないので、実際にどういう生活、作業をするのかにも興味がありました。

●常呂町の印象は？

自然豊かで景色がよく、静かで落ち着ける所で良いですね。

農業研修を終えて

★農業研修を終えての感想は？

研修先の方達がとても親切で楽しかったです。普段できないことを体験できてよかったです。

★うえるの住み心地は？

最高でした！長く滞在してもとても快適でした。海岸が近く、海辺を散歩できるのもよかったです！

★常呂町の農家の方へ一言！

お世話になりました。これから北海道も暑くなりそうですが、お身体を大事に作業頑張ってください。



●研修中の渋谷さん



●資材課で値付け作業をする藤吉さん(右)

北海道立常呂高等学校の職場体験学習が6月22日から23日の2日間で実施されました。今年、同校2年生の藤吉千春さんが当JAを訪れ、1日目は資材課で主に接客や商品の陳列、値付けなどを体験し、2日目は金融共済課で紙幣の両替作業やデータ入力などを体験しました。藤吉さんは「資材課では職員同士が連携して作業しているのが印象的でした。金融共済課では実際に現金や通帳など手にしたのでとても緊張しました」と話しました。

高校生がJAの仕事を経験！

ふまねっと運動に参加!

～JAところ女性部～

JAところ女性部（麻呂郁子部長）は6月23日、北見市老人クラブ連合会常呂支部が主催する「ふまねっと体験会」に二役で参加しました。

ふまねっと運動とは、大きな網を床に敷き、網をふまねいようにステップをする運動で、4月に行った「遊休タオル寄贈」の際に北見市社会福祉協議会常呂支所へ訪れた際に紹介を受けたものです。

参加した向修子副部長は「考えながら身体を動かすのが意外と難しく、出来ることも楽しい。女性部の事業に取り入れても面白いのでは」



●ふまねっと運動を体験する女性部二役

と話しました。

実際に会場では成功しても失敗しても盛り上がり、終始笑顔が溢れていました。

早取肥料 共同自己引取

～JAところ青年部～

JAところ青年部（今橋博行部長）は6月28日から7月6日までの期間で早取肥料の受入れやパレットの積み替え作業などを行う共同自己引取を行いました。

この事業は、青年部の肥料推進活動の一環として昭和60年から行われている歴史ある取り組みです。

青年部各支部単位で行い、総重量1,953tもの肥料が各生産者へ引き取られました。



●肥料の積みおろしを行う田鎖義隆さん(右)と猪野尚人さん



●緊張しながらも収録を行っています

と話ししました。

実際に会場では成功しても失敗しても盛り上がり、終始笑顔が溢れていました。

「農作業安全啓発ラジオ収録に参加！」

「農作業安全を呼びかけ」

オホーツク管内の農協組合長会や農業・行政の関係団体などをつくる「オホーツク地区農作業安全運動推進本部」では、HBCラジオのCMを通じて、農作業事故防止に向けたメッセージを同管内の生産者に呼びかけました。

管内全14JAの職員、当JAからは4人の職員が収録に参加し、7月から10月の農作業事故の発生割合が高い期間に放送しています。当JAでは毎週金曜日、10時台と15時頃の放送となっています。ぜひラジオのメッセージを通して、より一層農作業事故に気を付けて収穫の秋を迎えましょう。

●7月号：p2：小豆播種 誤：4,520t 正：4,520俵
p2：デントコーン播種 誤：6.5ha 正：65.8ha

〈訂正とお詫び〉

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。

在職中は何かご迷惑をお掛けすることもございましたが、皆様の温かいご指導、ご厚情に支えられながら今日まで務めることが出来ましたことを心から厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様、役職員の皆様の益々のご健勝とご多幸並びに常呂町農業と常呂町農協のさらなるご発展をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

平成29年度に入組し、金融経済課で4年間という短い期間ではありましたが勤務させて頂き多くの経験をすることができました。

残暑の候、組合員の皆様におかれましては、ご多忙の毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、私事ではございますが7月末日をもちまして退職致しました。



管理部 金融経済課
ゆずき 渡邊 柚祈

退職のご挨拶

既に他社クレジットでご購入された方へ…

他社クレジット借換えのご案内

JAフルスペックローンは他社からの借換えもできます。

※資金用途には制限があります。(農機具・ハウス・格納庫等)



©よりぞう

現在返済している他社クレジットから
借換えを検討してみませんか？

JAフルスペックローン借換え後との比較

【返済期間5年・残高500万円の借換えの場合】

現在

お支払総額
570万円

JAに借換え
すると



借換え後

お支払総額
550万円

お支払い総額で
20万円の軽減!!

※借換えには所定の条件・審査がございます。

※上記計算は当JAのシミュレーションを用いて算出した単純計算であり、
実際の借換え事例を示すものではなく、また実際の事例と計算結果が異なる場合
があります。

※詳細・必要書類などは金融共済課までお問合せください。

行事予定表

8月1日(日)~8月31日(火)

8月 8日(日)

山の日

8月 9日(月)

振替休日

8月15日(日)

お盆休み

8月16日(月)

お盆休み

8月20日(金)

第7回定例理事会

8月22日(日)

農休日

8月31日(火)

資材店舗棚卸(臨時休業)

第5回理事会報告〈6月25日開催〉

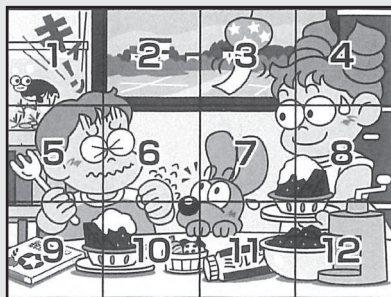
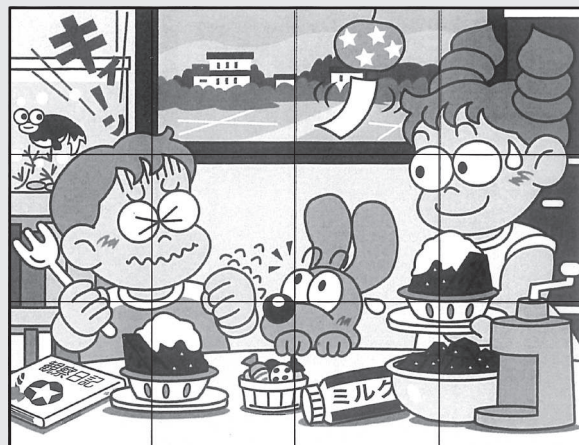
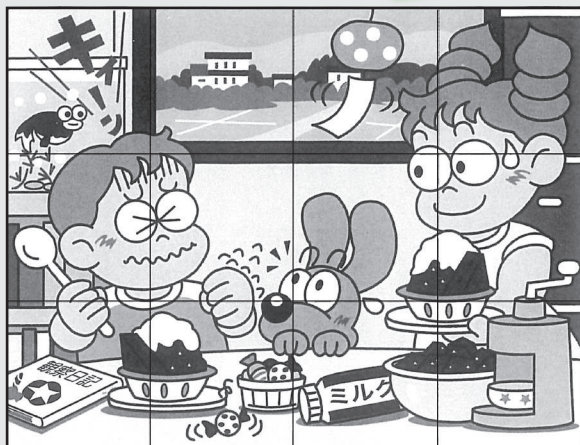
- ・職制規程の制定について
- ・令和3年度共同計算品目について
- ・組合員の出資金譲渡について

〈報告事項〉

- ・令和2年産加工生食本精算【トヨシロ・抵抗性品種】について
- ・内部監査報告について
- ・(株)常呂町産業振興公社の決算報告について
- ・6月4日の強風害による被害状況について
- ・ホクレンRTKシステムサーバー不具合について
- ・令和3年産馬鈴しょ作付圃場 春土壌検診(Gr)の実施結果について
- ・共済連からの寄贈品について
- ・職員の退職について
- ・組合員の異動について
- ・農業委員会開催報告

まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、豪華花火セットをプレゼントします。

先月の当選者・解答

7月号のクロスワードパズルの答えは「サ・ン・ダ・ル」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。ひおり
清尾 妃桜里さん(豊川) ※ () 内は地区名です。

読者の声

★すごく夏っぽい。

(匿名希望)

★暑くて頭が回らないです。

(匿名希望)

しあわせのおすそわけ

今月は平成30年11月27日にご結婚された共立地区の齊藤太賀さんご家族を紹介します。

TAIGA × HOMARE × MIZUKI



Saito Family

“結婚してくれてありがとう”

お二人の出会いは、全国高等学校カーリング選権。当時は意識することなくカーリング仲間として過ごしていましたが、大学で再会し意気投合。第一印象について聞くとお互いに笑顔が好印象だったと教えてくださいました。

付き合ってから2年、瑞季さんの誕生日旅行に高級温泉旅館に宿泊。その夜、いつになく真剣な眼差

しの太賀さんから「僕と結婚してください」と片ひざをつき、指輪の箱をパカッと開いてプロポーズされた瑞季さん。プロポーズされると思っていなかった瑞季さんは嬉し泣きですぐに返事が出来なかったそうです。太賀さんは長女の誉(ほまれ)ちゃんを抱きながら「男たるもの、しっかり伝えないと」とその当時を振り返り、その姿を笑顔でみつめる瑞季さんに幸せをおすそ分けして頂きました♡

齊藤さんご家族に質問



プロポーズを再現した1枚♡

●齊藤家はどんな家族？

食いしん坊家族！美味しいものを食べるのが大好きです♡

●家族内のルールなどはありますか？

人の嫌なことはしない！食べ物を残さない！

●これからの抱負は？

太賀さん：仕事は規模拡大！これからも変わらずみんな元気に楽しく生きていきたい

瑞季さん：とにかく皆ハッピーに生きていければいいな!!

編集後記

- 夏も中盤の8月となりました！夏らしいことをしているだろうか、と考えたのですが、寝るときの格好が半ズボンになったことくらいでした…。どうにか密を避けて夏を満喫しようと思う今日の頃です。
- 今月号からJAとところのご家族をご紹介します。“しあわせのおすそわけ”コーナーが不定期で復活します！新婚さんから、ご紹介できなかったご家族まで、続々登場予定！皆さん楽しみに～♪
《営農企画課：広報担当》

組織地帯を担う若者たち

玉葱の根切り作業を行う安藤聡さん

今月の表紙は、共立地区の安藤聡さん(26)です。玉葱の根切り作業を行っているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「仕事の流れもわかって、段々と慣れてきました。これからも先輩方の意見や技術を学んで自分のものにしていきたいです」と、真剣なまなざしで話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

